

2023年(令和5年)

JGA 全国通訳案内士新人研修会

Daily Report

～JGA facebook に毎日アップされた研修の様様を再編集しました～

■関西地区■

第一日・2/17(金) 講義+京都駅ビルウォーキング実習

JGA の新人研修はまずは終日の講義から始まります。関係法令や業務知識、団券やクーポンの取り扱い、日本の旅行事情、食事の対応、お客様を案内する上での注意点など、現場ですぐに必要なことですが、まとまって学ぶ機会は多くありません。仕事前の準備や下見のポイント、先輩ガイドの体験談、京都の観光情報・・・明日からの実地研修を最大限活かすため、たっぷりの講義が続きます。



(講義会場 京都テルサ)

「一度に覚えきれなくても大丈夫です、ポイントをおさえおけば、分厚い特製テキストが先々助けてくれますよ」そんな講師のアドバイスに励まされながら、プロの全国通訳案内士を仕事としてリアルに感じる初日となりました。

夕方からは名所でもある京都駅ビルのウォーキング実習へ。団体バス乗降場やタクシー・ハイヤーの乗降場、京都駅発着時の動線、地上に地下に連なるショップや飲食店をチェックするだけでなく、見上げるこの巨大な建築空間の面白さをどうぞ案内するか。お客様の驚く顔が浮かびますね。



第二日・2/18(土) 京都バス実習 + 東山祇園ウォーキング



バスに乗って降りて、車窓を見て、靴を脱いで、美しいお庭、歴史的建造物……。バス実習では、お客様の目線で「京都観光」を体感しつつ、ガイド目線でご案内のコツと要領をしっかりフォローします。よく知っているはずの名所旧蹟、よく分かっているつमりの歴史や文化。何度も訪れている京都も海外からのお客様にご案内すると、まるで切り口が変わります。

密度濃いベテラン講師の説明に、受講生の皆様はおしゃべりの暇もなく、熱心に聞いて見てメモを取り頭もフル回転。靴を脱ぐ時はどう伝えるとうまく行くか？



多くの修学旅行や団体観光客が訪れる京都では拝観要領と注意点を知らないとガイドが務まりません。混雑と渋滞問題も。



清水界限は今日もかなりの混雑。でも本当のピークはこんなものではありません。お客様が迷子にならないようにするには？

バスでの実習の後は、さらに京都らしい東山～祇園界限のウォーキング実習へ。足は疲れてきたけれど、お客様に古都の風情をご案内できるよう、丁寧にめぐります。

ガイドの仕事は歩くのです！



第三日・2/19(日) バス実習 伏見稲荷・大阪・関西空港・新大阪駅



雨が降っても観光客は観光します。バス駐車場から線路を二度渡り、商店街をぬけて雨に煙る伏見稲荷へ。傘で見えにくい中を誘導するには注意がいること、千本鳥居への石段もすべりやすくなること、ぬかるみを歩くとどうなるかも実体験。朝は静かだった境内も時間とともに次々と団体がやってきます。

京都から大阪、大阪から関空の移動では、車窓を見つつ、講師から車中の話題のヒントが次々に。大阪の産業、お笑い、たこ焼きとお好み焼き……。受講生も応じて「こてこて」「ボケとツッコミ」など大阪を語るキーワードを一緒に考えます。講師が披露してくれた失敗談は貴重な教訓となりました。



広大な大阪城公園では、動線や案内要領はもちろん、限られた時間で大阪城の

歴史や太閤さんをどう物語るか考えながら研修。昼食休憩を兼ねた道頓堀では、賑わいに圧倒されながらも、3つのカニを目印にオリエンテーション。食べ歩き、買い物、インスタ映え、様々な魅力をさぐります。



関西空港と新大阪駅の送迎を押さえ、移動の車中では順番にマイク体験をしながら実習を振り返りました。

第四日・2/20(月) 奈良バス実習 + 名刺交換会・講義・修了式



バス実習の最後は京都発の日帰りを想定した奈良の実習です。小一時間の道のりを体感しつつ奈良公園へ。奈良ならではの雰囲気と魅力を味わいながら、東大寺や春日大社など奈良公園をご案内する要領、バスターミナルや駐車場の問題、散策ルートをチェックしました。鹿さん達ともこれから長いおつきあいです。



ウォーキングでご案内することも多い奈良で、人気のならまちの歩き方、駅から近い地元商店街などもチェックして土地勘を養いました。

京都への帰路は再びのマイク体験。1分30秒と時間を区切り、その時間はどれくらいのことが話せる長さか意識する練習です。

午後はお忙しい中ご来場くださった旅行会社様・人材派遣会社様との名刺交換会。緊張しつつもプロのガイドとしての営業をさっそく実践です。

旅行会社のガイドアサイン担当様よりの特別講義、Q&Aを経て、皆さま笑顔で修了証を手に入れました。訪日観光が、来日されるお客様にも、受け入れる地元の方にも気持ち良い出会い、笑顔の経験となるよう努めていきましょう。ご活躍をお祈りします！



オプション 2/21(火) ウォーキング嵐山実習

前夜から雪警報が出る中、幸い列車の遅れもなく、参加者皆様も時間よりずっと前に元気に嵯峨嵐山駅に集合されました。束の間の晴れ間をはさんで雪が舞い、冷え込んだ一日。翌日の全国ニュースでも京都の雪景色に喜ぶ来日客の話題しきりでした。そう、雨の日も、雪の日も、暑い炎天下でもお客様は京都を味わいたい。見るには美しいけれど、歩くには・・・。





四季様々、嵐山の風光を満喫できるような色々なコース取りでご案内できるように、まずは位置関係と眺め、見どころ、散策路を確認しながらの実習です。午後は愛宕念仏寺から嵯峨野めぐり。



魅力ある場所の楽しいエピソードや、地区の成り立ち、色々な用途に使われている「竹」のこと、植物のこと、お食事処、懐石料理、お客様とのいろんなエピソード、講師の話題は途切れることなく続きます。受け取られたたくさんの情報からそれぞれどんな話題を磨き上げていくのでしょうか。



これで2023年 関西地区の新人研修は全日程を終了しました。またご一緒する日を楽しみにしています。みなさまごきげんよう！



新人研修で使用

JGA 全国通訳案内士研修テキスト【1】【2】【3】

■ 関東地区 ■

第一日・2/23(木) 講義

関東地区もまず初日は終日の講義です。浅草の台東区民会館にて、通訳案内士法、業務にかかわる関係法令とコンプライアンス、旅行の仕事の流れ、実際の業務における注意点と心得、日本の旅行事情、東京の観光情報などを現役ガイドである講師がそれぞれの体験談を交えながら具体的に解説していきます。「こういう手配書がきたら何を確認しますか」「和室に泊まる際にご案内すべきポイントは」などなど講師からの問いかけも交えて、現場をイメージしながら時ににぎやかに。



明日からはいよいよ実習が始まります。お客様の視点とガイドの視点であらためて日本を見直す機会としていきましょう！

第二日・2/24(金) バス実習 富士山・河口湖・箱根



朝の集合も良く、バス実習がスタートしました。都内発の日帰り旅行で一番人気の富士山・箱根は公共交通機関ではできないコースです。車窓とともに、都心を出発して目的地へ向かう時のガイディングの仕方やペース配分も考えます。

そうこうするうちに、曇り空の先に富士山が！お客さんの喜ぶ顔が浮かびます。富士山のビューポイント、見えない時のプラン、スバルライン。観光として富士山をご案内するとはどういうことかを確認していきます。富士山が見えても写真が撮れなければお客様はがっかりです。バスを停めて写真が撮れるスポット、富士山がどう見えるかも要チェックです。



箱根では、観光としての乗り物、噴気あがる大涌谷、芦ノ湖の青と山の緑、雰囲気ある東海道杉並木、寄せ木細工にからくり箱と、人気のわけにあらためて納得しました。



2月の平日でも大涌谷への道にはマイカーの行列。

天候と渋滞、富士山が見えるかどうか、富士山箱根ツアーを左右する大きな要素を研修でも早速実体験しました。船とロープウェイの組み合わせとオペレーションもガイドなら必須の業務知識です。

帰路はマイクをもって話す体験。人それぞれの話しぶりと聞こえ方が大いに参考になることが分かりました。同時に研修仲間との距離も近くなりました。

第三日・2/25(土) バス実習 都内・成田空港



鍛冶橋駐車場を後に、まずは車窓と移動ルートを確認しながら都心～浅草方面のドライブへ。土曜の朝早い都内はバスもすいすい進みます。通り過ぎるスピードにあわせて車窓をタイミングよく、かつ、分かりやすく案内する技術がガイドには必要なこと、浅草のバスの乗降ルール、降車前の案内のタイミング・・・、小一時間のドライブの間にも身につけるべき「コツ」の数々が見つかります。昨日のように長距離移動で目的地に行くのと、都内観光型とでは案内の仕方もトピックの出し方もまるで違うと実感できました。

皇居外苑・二重橋、明治神宮、東京タワーそれぞれの案内要領と注意点、お客様からよく出る質問、時間配分、バスの場合・ハイヤーの場合・公共交通期間の場合の動線。神社やお寺、日本の習慣を講師はどう伝えているか。訪問箇所それぞれの解説だけでなく、「東京」をどう伝えるか。スムーズに案内するための注意や願いを話題の中に織り込む工夫。次々に出てくる講師の話と、あらためて見る都内「観光」が新鮮でした。





成田空港の実習では、まずは出発階でセンディングの基本的流れと手続きを確認しました。スマートチェックインや顔認証システムも導入され、簡便になったはずが案外、動線が分かりにくいことも。到着階ではミーティングについて、事前の準備から荷物別送まで色々な状況を想定して確認。何時間も前に来て下見とシミュレーションをすべし！ JR パスのハンドリングと窓口の行列についても実地で確認しました。

最後はお台場に立ち寄り。寒風に震えながら美しい夜景と知っておいて便利な周辺施設をチェックして、帰着場所の東京駅日本橋口へ。

同じ場所でも一般道からと高速からの景色の違い、午前と夜の見え方なども意識できました。よく歩いた一日でした！ 乗務員さんにもスタッフにも丁寧に挨拶をしてお帰りになる皆さん、良いガイドさんになられそうですね。



第四日・2/26(日) バス実習 日光

新人研修もいよいよ四日目。そろそろ知識の吸収が追いついていませんがまだまだ研修は続きます。最後のバス研修は日光へ。富士山・箱根とはまた違う車窓の風景。ロングドライブの使い方。日光を楽しむ予備知識としての日本の歴史はどのくらいがちょうど良い？ 天気も良くて青空だけど日光は富士山よりも寒かった・・・。

その寒さを吹き飛ばすように今日も講師は熱心です。次から次へと引き出しから出てくる知識と手作り資料や参考図書の数々。少し圧倒されながらも受講者から熱心な質問が出ます。



日光山内をじっくり実習。

いくらでも詳しく案内できる場所ですが、時間内でお客様にうまく魅力を伝える工夫、境内でグループを案内する注意点、石段や足下への注意、写真ポイントなど押さえるべきポイントもたくさんです。

昼食休憩を利用して金谷ホテルも説明付きで見学させていただきました。



午後はいろは坂から中禅寺湖畔、華厳の滝へ。自然と歴史の両方が楽しめる日光ですが、紅葉シーズンや連休の渋滞には要注意。

帰路は再びマイク体験。マイクの扱いにも慣れてきました。



第五日・2/27(月)ウォーキング実習・浅草 + 講義・修了式・名刺交換会

5日間にわたる研修もあっという間に最終日を迎えました。今日の午前はウォーキングツアーを想定して浅草とスカイツリー近辺を巡ります。10時を過ぎると仲見世も結構な人混みで、話題のスイーツにはもう行列。浅草ではバスの乗降場も大事なチェックポイントです。ハイヤーや公共交通機関、水上バスの場合を含め、どこから始めてどう歩くかを常に考えます。



ウォーキングツアーの特徴と注意点を実体験。座る場所が欲しい気持ち、お店の誘惑、歩くペース……。バスツアーとは異なるメリハリのつけ方も必要です。

電車で東京スカイツリーに移動して、個人の場合・団体の場合それぞれの動線をチェック。こちらチケット購入に列が出来ていました。

スカイツリーから浅草へは、東京ミズマチ経由の新たな回遊ルートで歩いて戻ります。東武鉄道の鉄橋沿いにつくられたすみだリバーウォークで隅田川を渡り、青空に映えるスカイツリーや隅田川をあとに和気あいあいと午後の会場に向かいました。

5日目午後はしめくくりの講義・修了式・名刺交換会です。

まずは先輩体験談。新人研修が役立った事、新しい仕事の度にテキストを読み直してチェックポイントを確認した事などが披露されました。特別資料としてJGAの先輩から寄せられた失敗談集も配布されました。旅行会社のガイド担当の方の講義では、コロナ禍のお客様や旅行の傾向とともに、望ましいガイドについての率直なコメントをいただきました。ご来賓の観光庁様にはインバウンドの最新動向についての分析をご紹介いただくとともに、全国通訳案内士への激励のお言葉を頂きました。

修了式後の名刺交換会は新合格者にとり全国通訳案内士としての営業第一歩になりました。コロナ禍後初のピークとなる春シーズンに向けてすぐ始動される方もいらっしゃるでしょう。

皆様のご活躍をお祈りしております。



オプション 2/28(火) ウォーキング鎌倉実習

素晴らしい青空の下の鎌倉研修。5日間の新人研修とあわせて関東の主要訪問地をコンプリートです。青空を背景にした大仏様、「花の寺」長谷寺では春の花がもう咲き誇っています。今朝今年初めての鶯の声をきいた、と鎌倉在住の講師。

日帰り観光の形が多い鎌倉について、主な訪問地だけでなく、若宮通りの漆芸・鎌倉彫や、日常を感じる小町通りの裏通



りなど、お客様にご案内したいスポットを丁寧にまわってあらためて鎌倉の魅力に触れる一日となりました。食事場所やお店、移動のルートなど詳細な地元情報はいつか必ず役に立つものばかり。

観光要素でもある江ノ電は遠足の小学生も加わり、結構混んでいます。慣れていないお客様は尻込みしてしまうことも。渋滞や混雑も避けられない鎌倉の特徴です。

鶴岡八幡宮境内では小さなお社の謂れを調べ、鎌倉国宝館へ。小さな博物館ですが、仏教彫刻を間近に見られるのが素晴らしい。神道・仏教がどのように形に表れているか、四季折々の花、緑豊かな住宅街と海など、日本の人にも愛される鎌倉を海外からのゲストにどう紹介していくか、楽しいチャレンジになりそうですね。



JGA 全国通訳案内士新人研修会 2023 は熱心な参加者とともに全日程を終了しました。
皆様どうぞお元気にご活躍ください。

新人研修実行委員会